



シダレヤナギ [枝垂柳]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 外来種



科名 ヤナギ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株

池や水路の添景に植えると優美な風情になる。雌雄異株で国内には雄株が多いが、雌株の種子は綿毛に包まれ風に舞う。柳絮（りゅうじょ）と呼ばれ5月の風物詩になる。一般にヤナギといえばシダレヤナギを指すほど。近縁種に、枝が曲がりくねるウンリュウヤナギがある。



ウンリュウヤナギ



枝垂れる様子



雄花



綿毛に包まれた種子

Memo

生け花に使われた枝から根を出す。護岸工事でもヤナギを支柱に使うと根を出し芽吹くことがある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花期				■ (花は目立たない)								
果実						■							
紅葉・黄葉												■	
施肥			■ (痩せ地でない限り施肥は控える)										
剪定		■										■	

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	○ 湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント

乾燥を嫌い、湿潤地を好むので、腐葉土などを多めに敷き込み植えつける。枝垂れる枝葉は水辺の配植がよく似合う。生長が速く、大きく育つので、剪定管理が欠かせない。

剪定

ヤナギ類は一般に短命で、幹が柔らかく腐りやすい。生長は速いが、強剪定できるので冬場に枝を整える。風になびく優雅な樹形を保つには、落葉期に枝抜き剪定で枝を透かすとよい。

病虫害

ヤナギの仲間の多くは水辺の湿潤地を好み、枝や幹が柔らかいことから昆虫の食害が多い。アブラムシ、ハマキムシや幹に穴をあけるテッポウムシ(カミキリムシの幼虫)の被害を受けやすい。